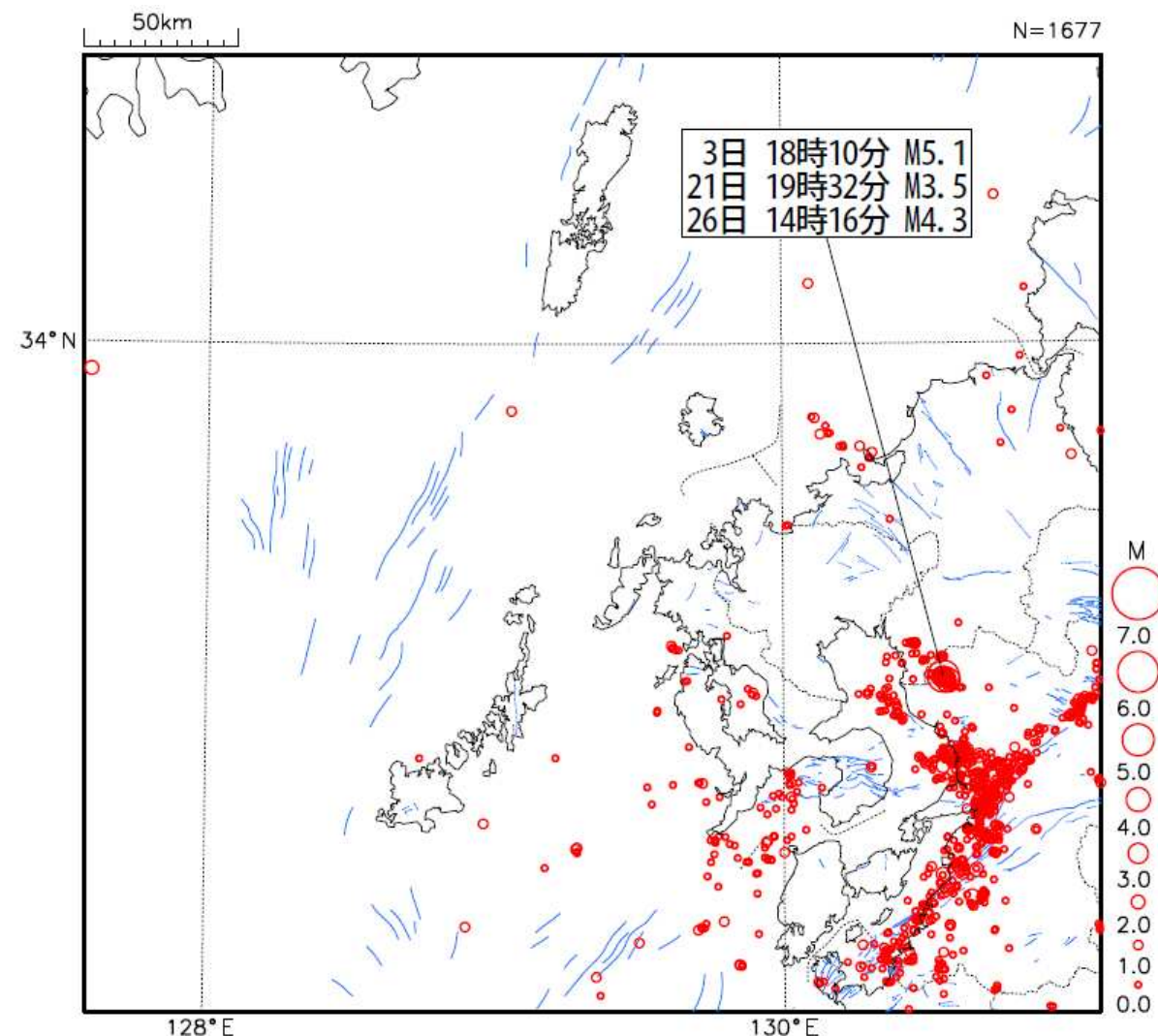
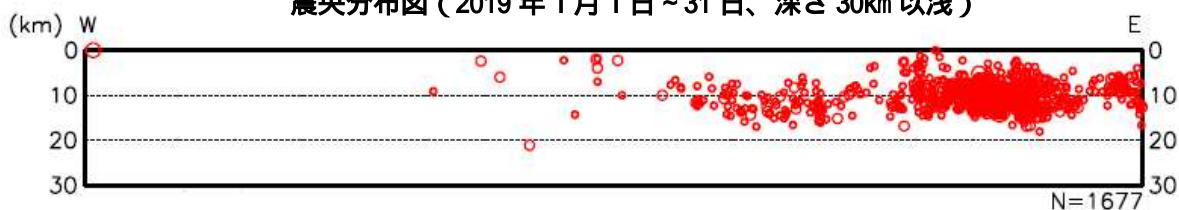


長崎県の地震活動概況 (2019 年 1 月)

平成 31 年 2 月 8 日
長崎地方気象台



震央分布図 (2019 年 1 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30km 以浅)



断面図 (2019 年 1 月 1 日 ~ 31 日、深さ 30 km 以浅)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

地震活動の概況 (2019 年 1 月)

1 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 6 回でした (12 月 : 2 回) 。
詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による) 。
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座) 、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成している。

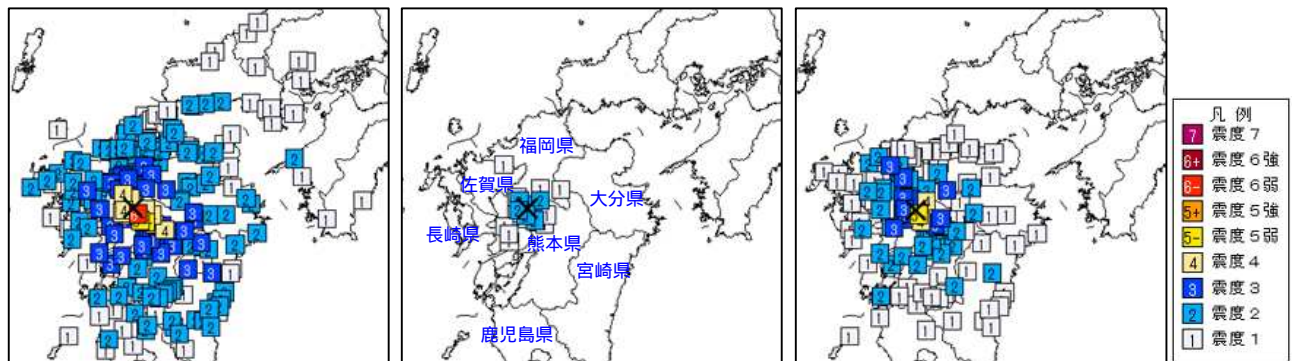
熊本県熊本地方

3日18時10分に熊本県熊本地方で発生したM5.1の地震(深さ10km)により、熊本県で震度6弱を観測したほか、九州地方から中国・四国地方の一部にかけて震度5弱～1を観測しました。長崎県では島原市、雲仙市、南島原市で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測しました(図1、表1)。

ほぼ同じ場所で、21日19時32分に発生したM3.5の地震(深さ10km)により、福岡県と熊本県で震度2を観測したほか、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県および大分県で震度1を観測しました。長崎県では島原市、雲仙市および南島原市で震度1を観測しました(図1、表1)。

また、ほぼ同じ場所で、26日14時16分に発生したM4.3の地震(深さ10km)により、熊本県で震度5弱を観測したほか、九州地方で震度4～1を観測しました。長崎県では島原市で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測しました(図1、表1)。

これらの地震の震源付近(図2領域a)では、M3～4クラスの地震が時々発生しており、2018年12月6日00時04分に発生したM3.3の地震(深さ14km)により、福岡県、熊本県で震度2を観測したほか、福岡県、熊本県および長崎県で震度1を観測しました。長崎県では島原市で震度1を観測しました。



1月3日 18時10分 M5.1 1月21日 19時32分 M3.5 1月26日 14時16分 M4.3

図1 震度分布図(市区町村点別、×:震央)

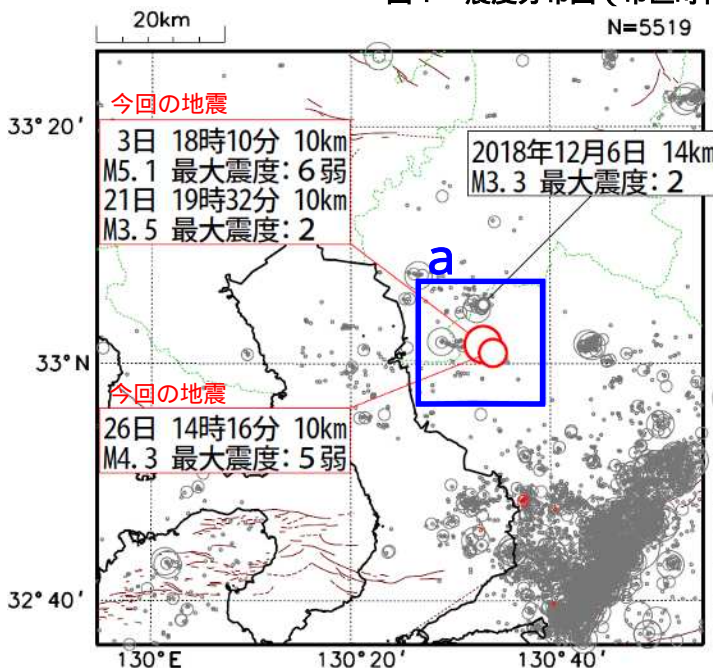


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日 深さ0km～30km M 2.0)

2019年1月の地震を赤で表示

図中の茶色線は活断層を示す(地震調査研究推進本部の長期評価による)

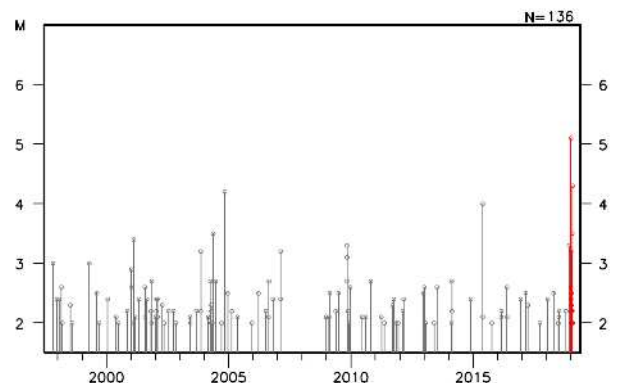


図3 図2領域a内の地震活動経過図

表1 これらの地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

1	2019年01月03日18時10分 熊本県熊本地方 33° 01.6' N 130° 33.2' E 10km M5.1	
長崎県	3	島原市下折橋町* 島原市有明町* 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市瑞穂町* 雲仙市吾妻町* 南島原市口之津町* 南島原市深江町*
	2	佐世保市鹿町町* 平戸市志々伎町* 松浦市志佐町* 松浦市鷹島町* 松浦市福島町* 川棚町中組* 長崎市元町* 諫早市東小路町 諫早市小長井町* 諫早市堂崎町* 諫早市多良見町* 諫早市飯盛町* 諫早市森山町* 諫早市高来町* 大村市玖島* 雲仙市千々石町* 雲仙市愛野町* 雲仙市雲仙出張所* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市布津町* 南島原市加津佐町* 南島原市有家町*
	1	佐世保市干尽町 佐世保市八幡町* 佐世保市小佐々町* 佐世保市吉井町* 佐世保市世知原町* 平戸市岩の上町 平戸市鏡川町* 平戸市生月町* 平戸市田平町* 東彼杵町蔵本* 佐々町本田原* 長崎市南山手 長崎市長浦町 長崎市伊王島町* 長崎市神浦江川町* 長与町嬉里* 時津町浦* 西海市大瀬戸町* 西海市西海町* 南島原市南有馬町* 壱岐市郷ノ浦町* 壱岐市芦辺町芦辺*
3	2019年01月21日19時32分 熊本県熊本地方 33° 01.5' N 130° 33.0' E 10km M3.5	
長崎県	1	島原市下折橋町* 島原市有明町* 雲仙市国見町 南島原市深江町*
6	2019年01月26日14時16分 熊本県熊本地方 33° 00.9' N 130° 34.2' E 10km M4.3	
長崎県	3	島原市有明町*
	2	諫早市多良見町* 諫早市森山町* 島原市下折橋町* 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市愛野町* 雲仙市瑞穂町* 雲仙市吾妻町* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市口之津町* 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市深江町* 南島原市加津佐町*
	1	佐世保市吉井町* 佐世保市鹿町町* 平戸市鏡川町* 松浦市志佐町* 川棚町中組* 長崎市元町* 諫早市東小路町 諫早市小長井町* 諫早市堂崎町* 諫早市飯盛町* 諫早市高来町* 大村市玖島* 時津町浦* 雲仙市千々石町* 雲仙市雲仙出張所* 南島原市南有馬町* 南島原市布津町* 南島原市有家町*

注1) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

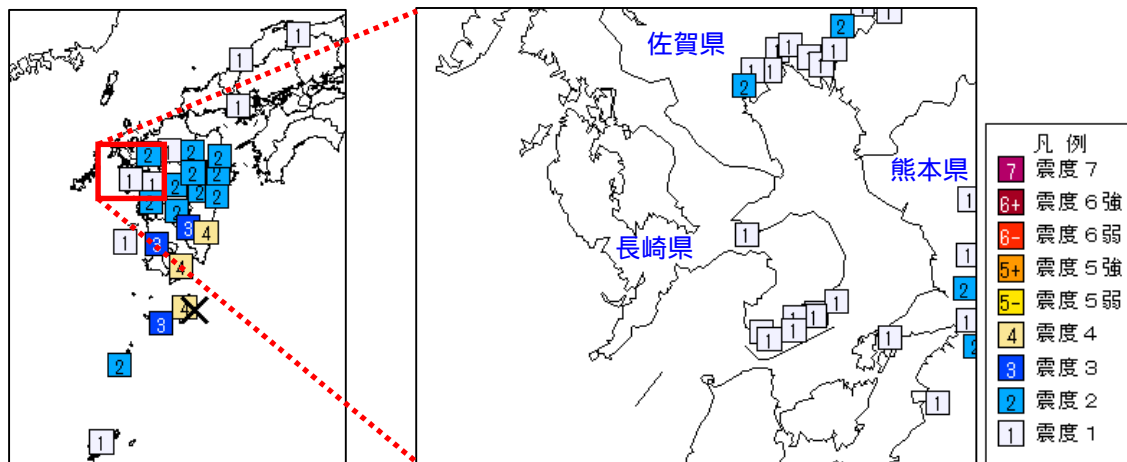
注2) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

注3) No.は時系列順に付しています。

種子島近海（1頁震央分布図領域外）

8日21時39分に種子島近海で発生したM6.0の地震（深さ30km）により、宮崎県と鹿児島県で震度4を観測したほか、九州地方から中国地方にかけての広い範囲で震度3～1を観測しました。長崎県では諫早市、南島原市で震度1を観測しました（図4、表2）。

今回の地震の震源付近（図6領域c）では、日頃から地震活動が見られる領域で、長崎県で震度1以上を観測したのは、2010年1月25日に発生したM5.4の地震（深さ49km、最大震度4、長崎県では雲仙市で震度1）以来です（図5～7）。



1月8日 21時39分 M6.0

図4 震度分布図（左図は地域別、右図は観測点別、×：震央）

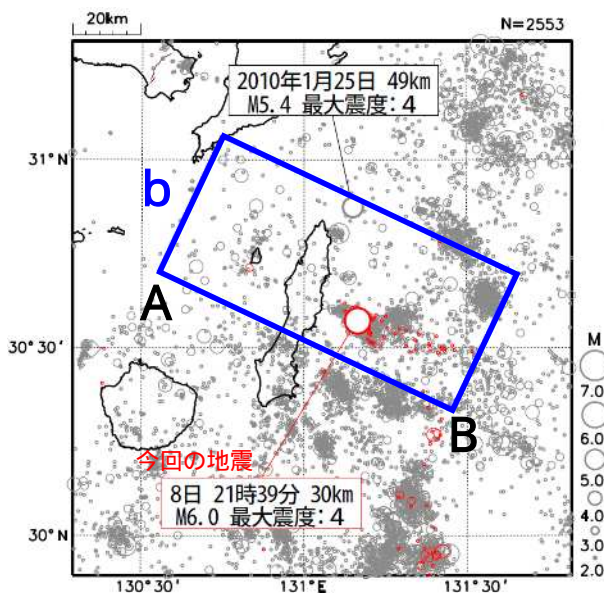


図5 震央分布図

（1997年10月1日～2019年1月31日 深さ0km～90km M 2.0）
2019年1月の地震を赤で表示

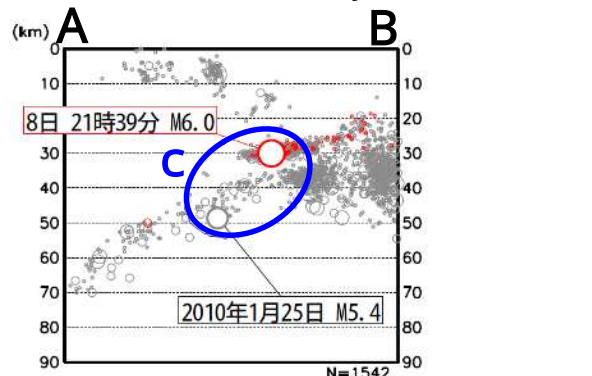


図6 図5領域b内の断面図（A-B投影）

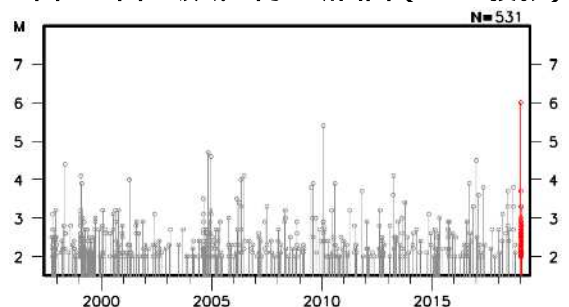


図7 図6領域c内の地震活動経過図

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

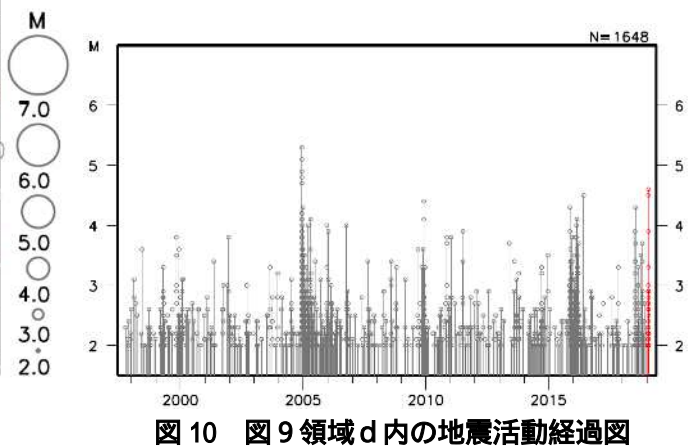
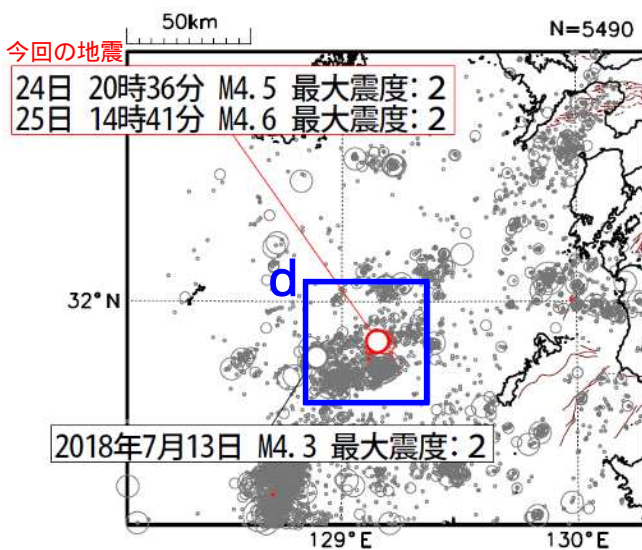
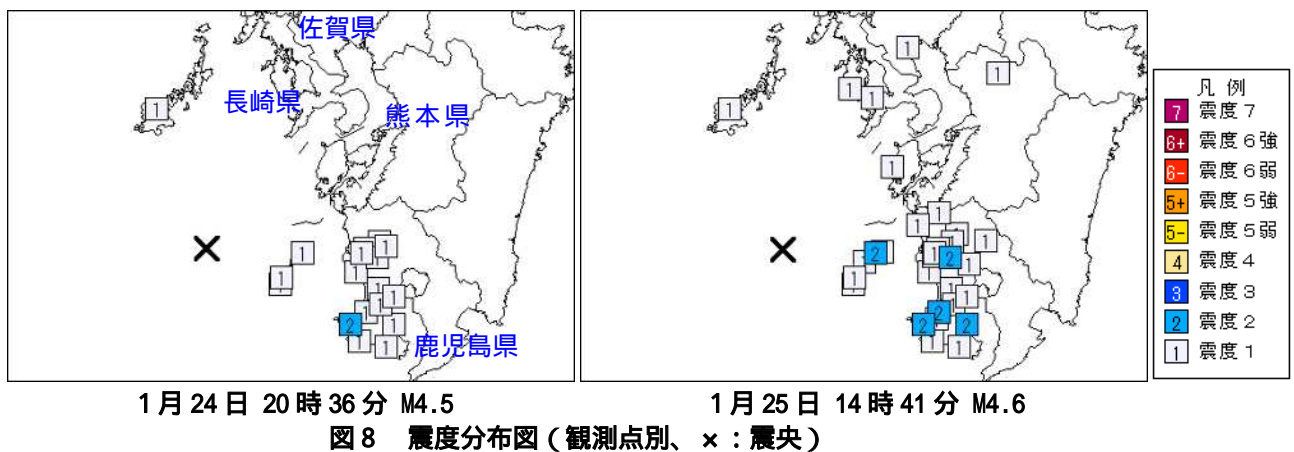
No. 2	2019年01月08日21時39分	種子島近海	30°34.3' N 131°09.8' E	30km M6.0
長崎県	1	諫早市森山町* 南島原市口之津町* 南島原市南有馬町* 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市布津町* 南島原市加津佐町* 南島原市有家町*		

注4) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
 注5) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
 注6) No.は時系列順に付しています。

薩摩半島西方沖（1頁震央分布図領域外）

24日20時36分に薩摩半島西方沖で発生したM4.5の地震により、鹿児島県で震度2を観測したほか、鹿児島県、長崎県で震度1を観測しました。長崎県では五島市で震度1を観測しました。また、ほぼ同じ場所で25日14時41分に発生したM4.6の地震により、鹿児島県で震度2を観測したほか、鹿児島県、佐賀県、長崎県および熊本県で震度1を観測しました。長崎県では長崎市、時津町および五島市で震度1を観測しました（図8、表3）。

今回の地震の震央付近（図9領域d）では、日頃から地震活動が見られる領域で、長崎県で震度1以上を観測したのは、2018年7月13日に発生したM4.3の地震（最大震度2、長崎県では五島市で震度1）以来です（図9、図10）。



(1997年10月1日～2019年1月31日 深さ0km～60km M 2.0)
2019年1月の地震を赤で表示

表3 これらの地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 4	2019年01月24日20時36分	薩摩半島西方沖	31° 51.4' N	129° 09.0' E	9km	M4.5
長崎県	1	五島市岐宿町*				
No. 5	2019年01月25日14時41分	薩摩半島西方沖	31° 51.0' N	129° 10.7' E	7km	M4.6
長崎県	1	長崎市神浦江川町* 時津町浦* 五島市岐宿町*				

注7) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
 注8) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
 注9) No.は時系列順に付しています。

気象庁 機動調査班 (JMA-MOT) について

自然災害が発生したとき、気象庁は被災地周辺の状況や観測施設の被害状況を確認することを目的として職員を現地に派遣します。この時、地域住民の方や関係者の方のご理解とご協力を頂くため、「気象庁 機動調査班 (JMA-MOT ¹)」という統一した名称を用いて活動することとしています。

JMA-MOT として派遣された職員は専用のベスト (図 1) を着用し、地震や津波により顕著な被害が発生した場合、震度観測点や観測施設 (検潮所など) が受けた被害状況の調査や、震度観測点周辺での揺れや被害の状況の確認、検潮所周辺での津波の痕跡の確認などを行います (図 2)。地震活動等の状況を把握するために地震計等の観測機器を設置して機動観測を行うこともあります。また、必要に応じて現地での報道機関からの取材にも対応します。

気象庁が JMA-MOT を派遣する際には、事前に地元の地方公共団体にお知らせした上で、派遣決定後速やかに周知・公表を行います。また、調査結果についても同様に地元の地方公共団体に報告するとともに周知・公表を行います ²。

- 1 Japan Meteorological Agency Mobile Observation Team
JMA-MOT の活動対象は地震・津波のほか、火山噴火、竜巻等突風、高潮・高波・副振動があります。
- 2 福岡管内での調査結果は福岡管区気象台のホームページでも公開しています。
https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/gyomu/hodo_si_ryo.html



図 1 専用のベスト



図 2 「平成 28 年 (2016 年) 熊本地震」の際の JMA-MOT の調査の様子
(左 : 熊本県益城町、右 : 熊本県山鹿市)